

2016年度第2回「LSC相談員研修会」

2017年3月24日(金) 奈良県労福協(奈良県労働者福祉協議会)主催で「ライフサポートセンター職員及び相談員研修」を開催し、ライフサポートセンター相談員6名、県労福協3名、連合奈良より6名が参加した。奈良県労福協の松岡隆専務理事から、日ごろ様々な相談の対応をされるうえで、相談員のスキルアップを含め年2回の研修会、1回の自主研修をすることで相談業務の認識、情報を共有したい。また、



各現場で連携をとり様々な情報を共有することは大切だ

と思いますと挨拶された。次に、連合奈良の西田一美事務局長から、世間で話題の事件は次から次へ起こり世の中は目まぐるしく変化している。多くの情報にまどわされやすいなか問題の本質、課題



はどこにあって、何を解決すべきかが問われている。幅広い内容の相談業務も同様、相談者の本質を如何に感じ取っていくかが難しい。LSC相談業務の多様化するなか研修で学んだことを活かしたいと挨拶。



テーマ「労働契約法第18条の2018年問題とは」

脇田哲相談員を講師に、「労働契約法改正施行から5年目に」をサブテーマとして講演された。1.第18条の解説(①第1項、第2項。②第18条の説明。③無期転換の仕組みとクーリング。④2012年・労働基準局通達) 2. 当時と現在の正規・非正規労働者の状態比較 3. 労働契約法の第18条の2018年問題とは何か 4. 有期労働者の向き転換(考えられる五つのパターン) 5. 参考資料(JPの無期契約転換制度の前倒し)を丁寧に説明された。



テーマ「非正規公務員の現状と課題」

北井悟司南和所長を講師に、上記、テーマの問題提起をされた。1.「非正規公務員」とは。2. 自治体の非正規公務員の現状。3. 無権利状態の自治体非正規公務員。4. 雇用と権利(解雇、賃金、手当、休暇、社会保障、労働災害、健康診断)をわかりやすく説明された。最後に、質疑応答の時間で色々な質問や意見など相談員から出された。

2016年度 相談員自主研修



2017年1月17日(火)「ライフサポートセンター相談員自主研修」を開催し、ライフサポートセンター相談員7名、県労福協2名、連合奈良より8名が参加した。自主研修のテーマは「メンタルヘルスの事例的研修」を行った。過去5年間(2011年～2015年)のメンタルヘルス相談占有率は、奈良で14.2%、南和で12.7%である。メンタルヘルスの事例4つを各相談員から報告、その事例の解決策などを話し合った。休憩後、労福協とLSC相談員との意見交換を行った。